

1. 募集件名 早稲田大学政治経済学術院（政治経済学部）非常勤講師（社会学）公募

2. 募集人数 1名

3. 資格 非常勤講師

4. 契約期間 2017年9月21日から2018年3月31日まで

- ・契約の更新は次により総合的に判断する。
(1)次年度および次学期における学科目の開講状況および受講者数の見通し
(2)勤務状況および態度
(3)能力および適性

5. 更新の有無

- ・契約期間満了後、引き続き1年を超えない範囲で更新する場合があります。

- ・職種に関わらず2013年4月1日以降に学校法人早稲田大学と雇用契約があり、今回の採用日までの間に原則として半年間の雇用契約を締結していない期間がない場合は、雇用契約期間は通算10年が上限となります。そのため、雇用期間や再任用の有無・期間について、上記の期間のとおりとならない場合があります。

6. 給与等

- ・講師給：49歳以下 29,810円（2017年度月額）
50歳以上 32,050円（2017年度月額）
※年齢は2017年4月1日現在の年齢を基準とする。
※講師給の改定があった場合は、上記金額を変更する。
※講師給の支給日は、毎月15日に支給する。ただし、支給日が金融機関の休業日に当たるときは、繰り上げて支給する。
- ・出校手当：6,000円（2017年度月額）
※春学期、秋学期ともに週1時限を超えて担当しても同額とする。
※2018年度以降、出校手当は廃止予定
- ・通勤費：本人からの申請に基づき、大学が認めた合理的な経路・区間の運賃を支給する。

【支給例（50歳以上で春学期、秋学期ともに週2時限担当した場合の月額）】
講師給32,050円×2時限+出校手当6,000円=70,100円
(2017年度月額)

- ・政治経済学部設置「社会学」の授業担当（週1コマ）。
※授業内容は、別紙の講義概要を参照してください。

授業担当科目名	社会学
---------	-----

7. 職務内容

授業概要	設置時期：秋学期
	授業回数：15回（週1回×15週）
	授業内容：別紙の講義概要を参照

曜日・時限	採用決定者と相談の上、決定する
-------	-----------------

就業場所	早稲田キャンパス
------	----------

8. 授業担当時限の上限

- ・語学科目を担当する場合は、本学において週8時限を上限とする。
- ・講義科目と語学科目を担当する場合は、下表を基準とする。
(単位：時限)

※A	4	3.5	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0
※B	0	1	2	3	4	5	6	7	8

※A：講義科目

※B：語学科目および実験・実習・実技科目

9. 労働条件等	・勤務時間等 非常勤講師就業規則による。なお授業実施日は、決定後に科目設置学部等から周知する。 ・休日 日曜日および、大学が予め授業を実施すると定めた日を除く年末年始、国民の祝日、大学創立記念日、その他大学が指定する日。 ・休暇等 労働基準法等法令に定められた休暇 ・社会保険 労災保険に加入する。
10. 応募資格	次のすべてを満たすもの。 ① 博士号（PhD）取得、またはそれと同等の研究業績を有すること。 ② 嘱任予定日時点で、大学において1年以上講義を担当した経験があること。 ③ 別紙の講義概要に含まれる内容に関連する研究業績があること。
11. 応募方法	応募書類（１）～（３）を指定のメールアドレスに送付してください。 （１）履歴書 大学学部卒業以後の学歴および職歴（所定用紙） （２）業績一覧 教育歴および研究歴（所定用紙） （３）主要な研究業績３点以上（PDF等のファイル、またはファイルをダウンロードできるURL）。 *原則、応募書類は返却しません。 *研究業績は、ハードコピーの郵送による提出でも構いません。その場合には「非常勤講師（社会学）応募書類在中」と封筒に記載の上、以下の問い合わせ先までご郵送ください。 <送付先> 以下のアドレスに応募書類を添付してお送りください。添付ファイルにはパスワードをかけ、別途パスワードをお知らせください。 seikei-gakujin@list.waseda.jp
12. 募集期間	<u>2017年6月12日（月）～2017年7月10日（月）</u>
13. 選考・結果通知	書類選考を行います。 選考結果は、<u>2017年7月21日（金）</u>までに本人宛へ通知します。
14. 問合せ先	早稲田大学 政治経済学術院 政治経済学部事務所 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1 TEL：03-3207-5617 E-mail：seikei-gakujin@list.waseda.jp

以 上

「社会学」講義概要

目標：

社会的不平等、社会的ジレンマ、社会的ネットワークといった社会学の対象領域に属する様々な問題から代表的な事例をいくつか取り上げ、それらの事象の背後にあるロジックを、エビデンスに基づいて解き明かすことが、この講義の目的である。方法としては、政治経済学術院でこれまで展開されてきた方法論科目の統一化と充実に歩調を合わせ、統計的計量的方法、実験的方法、社会調査、ゲーム理論、数理的方法を積極的に展開する。

この科目を通じて、社会的事象や問題の背後にあるロジックを、数理的統計的に把握し考察することの大切さを認識し、その手法の基礎を習得することが目標である。統計学、経済数学、ゲーム理論、計量分析などの必修科目や選択必修科目と共に政治学、経済学、その他の社会科学の展開に必要な知識を提供する。

具体的なテーマ

1. 社会的な不平等（実証分析、実験・世論調査、数理分析）
 - ① 差別と貧困の発生（雇用と賃金の差別、偏見、相対的貧困）
 - ② 教育機会の不平等（階層とリスク回避）
 - ③ 豊かさと不平等（ローレンツ曲線、ジニ係数）
 - ④ 相対的剥奪のメカニズム
2. 社会的ジレンマ（ゲーム理論・数理的分析）
 - ① 共有地の悲劇と環境問題（囚人のジレンマゲーム）
 - ② 権力の形成と権力のパラドックス
 - ③ 集団的決定と投票のパラドックス（アローの定理など）
 - ④ 互酬性の発生（繰り返しゲーム、進化ゲーム）
3. 社会的ネットワーク（数理的分析、実証的分析）
 - ① ネットワークと人間行動（同感、コミットメントなど）
 - ② 社会関係資本（投票行動、政党など）